

本件は、スイス・チューリッヒにおいて、  
11月9日 11:00(日本時間 19:00)に発表しました。

**HITACHI**  
Inspire the Next

# News Release

2022年11月10日  
日立エナジー

**日立エナジーが、ドイツの大手送電事業者テネットから、  
420kV で世界初となる SF<sub>6</sub> ガスフリーのガス絶縁開閉装置を含む系統連系設備を受注**  
約 2,300kg の SF<sub>6</sub> ガスの使用を抑え、テネットの温室効果ガス排出量削減を支援



左から、日立エナジー オーストリア・ドイツ・スイス担当カンントリーマネージングダイレクター パスカル・ダレイデン、同社ハイボルテージプロダクツビジネスユニット担当役員 マルクス・ハイムバッハ、テネット サプライチェーンマネジメントダイレクター シェーケ・ブーツマ、同社ドイツ大型プロジェクト担当ダイレクター ゲオルグ・プラエハウザー、同社資産管理部門長 フロリアン・マーティン

日立エナジーは、ドイツ連邦共和国(以下、ドイツ)の大手送電事業者である TenneT(テネット)から、420kV において世界初の SF<sub>6</sub> ガス<sup>\*1</sup> フリーのガス絶縁開閉装置(以下、GIS<sup>\*2</sup>)となる「EconIQ™」420kV GIS 3ベイを含むモジュール式系統連系設備一式を受注しました。当社は今回、テネットの系統連系設備更新に対して EconIQ 420kV GIS を提供することにより、約 2,300kg の SF<sub>6</sub> ガスの使用を不要にします。これは、乗用車約 1,150 台分<sup>\*3</sup> の CO<sub>2</sub> 年間排出量を削減することに相当します。

今回受注した設備には、420kV 空気絶縁開閉装置 2 ベイや制御・保護装置などの系統連系設備も含まれ、2026 年までに納入する予定です。

\*1 六フッ化硫黄ガス。優れた絶縁性能により電力分野において数十年にわたって使用されてきたが、地球温暖化係数が高いことから、代替ガスへの置換が進められている

\*2 Gas Insulated Switchgear

\*3 100km あたり 19kg の CO<sub>2</sub> を排出する乗用車が年間 10,000km 走行すると仮定

テネットは、ドイツおよびオランダにおいて約 4,200 万の企業や家庭に電力を供給する送電事業者であり、エネルギー転換の推進に向けて、温室効果ガス排出量削減につながる、環境効率の高い技術への投資を進めています。同社が今回更新する系統連系設備は、ハノーバー近郊に位置する、出力 220MW のエルツハウゼン揚水発電所向けのもので、

日立エナジーは SF<sub>6</sub> ガスフリーの機器をはじめとした環境効率の高い製品・サービス・ソリューションパッケージを、EconIQ シリーズとして展開しています。今回当社は、テネットに対して、EconIQ 420kV GIS を含むモジュール式系統連系設備に加えて、先進の技術、優れたシステムインテグレーション能力、エンジニアリングに関する専門知識、各地域のグリッド規格に関する豊富な経験を提供します。また、当社は、本プロジェクトに、統合的かつ協調的なデジタル作業手法であるビルディング・インフォメーション・モデリングを適用します。これにより、デジタルツイン技術を活用し、設備に関する情報を 3D モデルに付与することで、お客さまの意思決定を支援するとともに、設備管理の高度化を実現します。

日立エナジーの CEO であるクラウディオ・ファキンは、「日立エナジーは、エネルギー転換が喫緊の課題であると考えており、イノベーションとコラボレーションを推進しています。今回、ドイツにおいて、電力インフラの強化とエネルギー転換の加速に取り組んでいるテネットに協力できることを誇りに思います。当社は、EconIQ GIS と、モジュール式系統連系設備の提供を通じて、テネットの温室効果ガス排出量削減を支援し、持続可能で柔軟かつ安全なエネルギーシステムの構築に貢献します。」と述べています。

#### ■日立エナジーについて

日立エナジーは、持続可能なエネルギーの未来へ向けた取り組みを加速する、グローバルな技術リーダーです。さまざまな分野のお客さまに、バリューチェーン全体にわたる革新的なソリューションとサービスを提供するとともに、お客さまやパートナーとの協創により、カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー転換に必要な、デジタル技術を活用した変革を実現します。日立エナジーは、社会価値、環境価値、経済価値のバランスを取りながら、世界でより持続可能、より柔軟、より安心・安全なエネルギーシステムを構築する取り組みを進めています。スイス・チューリッヒに本社を置き、全世界 90 カ国に約 40,000 人の従業員を擁しており、140 カ国以上の導入実績と、約 1 兆円の事業規模を有しています。

詳しくは、ウェブサイト(<https://www.hitachienergy.com/jp/ja>)をご覧ください。

#### ■日立エナジー関連リンク

(1) 公式 LinkedIn(英語)

<https://www.linkedin.com/company/hitachienergy>

(2) 公式 Twitter(英語)

<https://twitter.com/HitachiEnergy>

#### ■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。金融・官公庁・自治体・通信向け IT サービスやお客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエナジー&モビリティ」、産業流通、水インフラ、ヘルスケア、家電・空調システム、計測分析システム、ビルシステムなどの幅広い領域でプロダクトをデジタルでつなぐ「コネクティブインダストリーズ」と、自動車・二輪車の分野で先進技術を提供する「オートモティブシステム」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお

客さまや社会の課題を解決します。グリーン、デジタル、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2021年度(2022年3月期)の連結売上収益は10兆2,646億円、2022年3月末時点で連結子会社は853社、全世界で約37万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■日立グループ パワーグリッドポータルサイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/energy/pg/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---